2021 年 5 月 18 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生２号ファンド」
次世代半固体リチウムイオン電池を開発する 24M Technologies への投資実行

―電池製造プラットーフォーマーとして世界的な電動化社会作りに貢献する―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生2号ファンド」が、リチウム電池向け半固体電解質の研究・開発を行う24M Technologies, Inc（本社：米国マサチューセッツ州、CEO：太田 直樹氏、以下「24M社」と表記）への投資(金額は非開示)を実行しましたことをお知らせいたします。24M社は独自の半固体電解質を基盤とする、新しい電池製造プラットフォームを開発、リチウムイオン電池の製造工程に革命を起こします。 24M社は今回の調達資金を活用し、専門性の高い技術人材採用、設備投資を実施し、事業活動を加速させていきます。

■投資先企業の概要

24M 社は半固体電解質技術の研究・開発、当該技術を基盤とする電池製造プラットフォームのライセンシング事業を世界中で展開しています。特許取得済みの独自技術は、現行リチウムイオン電池の性能・安全性・信頼性の向上を可能にすると共に、使用部材の削減、製造プロセスの簡略化により、価格競争力のある製品を提供し、材料のリサイクル性の向上にも寄与します。

2019 年にはライセンシングパートナー企業と製品の商業化を果たし、現在、量産工場を建設中です。また、米国では実証用の自社プラントにてサンプルの製造、及び新素材を使った更なる技術開発が進行中です。昨今の環境保全への意識の高まりを受け、電気自動車、再生可能エネルギーの普及拡大が急速に始まっております。また電子機器のモバイル化に伴い、リチウムイオン電池の需要が急増しております。24M 社はこの世界規模で広がる電池需要の高まりに応えるべくライセンス事業をグローバルに展開し、各パートナーとの電池製造事業を拡大してまいります。

本件プレスリリースの内容を含め、詳細については 24 社のホームページ：https://24-m.com/をご参照ください。

■「未来創生（１号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（１号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2021 年 4 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、883 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com